

## メッセージ 4

### ヨブと二本の木

聖書：創 2:9, 17. 啓 22:1-2, 14. ヨブ 1:1. 2:3. 42:1-6

I. 神聖な啓示において、二本の木、二つの源、二つの道、二つの原則、二つの終局があります：

A. 二本の木：

1. 命の木が表徴しているのは、人と神の関係における、人にとって命である三一の神です——創 2:9. 詩 36:9 前半。
2. 善悪知識の木が表徴しているのは、神の御前での人の堕落における、人にとって死である惡魔サタン、邪惡な者です——創 2:17。

B. 二つの源：

1. 命の木は、命としての神を追い求めて供給と享受を得る人の源です——ヨハネ 1:4. 15:1。
2. 善悪知識の木は、毒としてのサタンに従って死と永遠の滅びへと至る人の源です——8:44。
3. この二つの源の結果は二つの王国、すなわち神の王国とサタンの王国です——マタイ 21:43. 12:26. コロサイ 1:13。

C. 二つの道：

1. 第一の道は、命の道、すなわち狭められている道であり、人に神を追い求めさせ、神を獲得させ、永遠の命における神を供給として享受させます——マタイ 7:14. 使徒 9:2. 16:17. 18:25-26. ハイペテロ 2:15, 21。
2. 第二の道は、死と善悪の道、すなわち幅広い道であり、人をサタンに従わせ、サタンの子供たちとならせます——マタイ 7:13. I ヨハネ 3:10 前半。

D. 二つの原則：

1. 第一の原則は、命の原則、すなわち神に依存する原則です——ヨハネ 15:5. 創 4:4。
2. 第二の原則は、死と善悪の原則、すなわち神から独立する原則です——エレミヤ 17:5-6. 創 4:3。

E. 二つの終局は、人が神との関係で取る二つの道の最終結果です：

1. 神の命の道の終局は、命の水の都、すなわち新エルサレムです——啓 21:2, 10-11. 22:1-2。
2. 死と善悪の道の終局は、火の池です——19:20. 20:10, 14-15. 21:8。

II. 神の意図は、善悪知識の木の路線にあるヨブを得ることではなく、命の木の路線にあるヨブを得ることでした：

- A. ヨブと彼の友の論理は、善悪知識の木の路線にしたがっていました——ヨブ 2:11—32:1。
  - B. ヨブは彼の友のように、正しいか間違っているかの知識にとどまっており、神のエコノミーを知りませんでした——4:7-8。
  - C. ヨブと彼の友は、善悪知識の木の領域にいました。神は彼らをこの領域から救い出して、命の木の領域の中へと入れようとした——1:1. 2:3. 19:10。
  - D. ヨブを対処することでの神の目的は、ヨブを善悪の道から命の道に転向させることでした。それは、ヨブが最も満ち満ちた程度にまで神を獲得するためでした——42:1-6。
- III. わたしたちは命の木のビジョン、すなわち、神がキリストの中でわたしたちの食物であることのビジョンを必要とします——創 2:9. 啓 22:1-2, 14 :
- A. 命の木が表徴しているのは、三一の神がキリストの中でご自身を、食物の形で彼の選ばれた人の中へと命として分与するということです——創 2:9。
  - B. 命の木は宇宙の中心です：
    1. 神の目的によれば、地は宇宙の中心であり、エデンの園は地の中心であり、命の木はエデンの園の中心です。ですから、宇宙は命の木を中心としています。
    2. 神と人にとって、命の木よりも中心的で重要なものはありません——3:22. 啓 22:14。
  - C. 新約は、キリストが命の木のしるしの成就であることを啓示しています——ヨハネ 1:4. 15:5。
  - D. ヨハネによる福音書が啓示しているすべてを含むキリストのすべての面は、命の木の結果です——6:48. 8:12. 10:11. 11:25. 14:6。
  - E. 命の木を享受することは、神の贖われた民すべての永遠の分け前となります——啓 22:1-2, 14 :
    1. 命の木は、神が初めから人に対して意図したことを永遠にわたって成就します——創 1:26. 2:9。
    2. 命の木の実は、永遠において神の贖われた者の食物となります。これらの実は絶えず新鮮であり、毎月みのります——啓 22:2。
- IV. わたしたちが再生されたとき、キリストはご自身を命の木としてわたしたちの中へと植えました——ヨハネ 1:12-13. 3:3, 5-6, 15. 11:25. 15:1, 5:
- A. わたしたちは実際の生活において、命の木の路線におらず、善悪知識の木の路線にいるかもしれません——箴 16:25. 21:2。
  - B. ヨブは、倫理の領域にあるものを追い求めていましたが、わたしたちキリ

ストにある信者は、神の領域にあるものを追い求めるべきです—— I コリント 15:28。エペソ 3:16-21。

- C. わたしたちは日常生活において、善悪知識の木の領域にいるべきではなく、命を与える靈の領域にいるべきです—— I コリント 15:45 後半。ローマ 8:2。
- D. 神の意図は、わたしたちを取り壊し、わたしたちの命と性質としてのご自身をもってわたしたちを再建して、わたしたちが絶対的に彼と一である人となるようにすることです—— II コリント 1:9。4:14。